

道南「学童保育キャラバン」 1市10町を訪問し要請 指導員にニュースも届ける

5月8～9日に「学童保育キャラバン行動」(第1次)をおこない、道南の1市10町(北斗市・木古内町・知内町・福島町・松前町・上ノ国町・江差町・厚沢部町・乙部町・せたな町・今金町)を訪問して学童保育施策の充実を要請するとともに、学童保育で働く指導員にニュースを届けました。今回の行動には道労連・竹田事務局次長、函労会議・岩瀬事務局長と建交労道本部の俵書記長、函館支部の深浦委員長のほか、北斗市への要請には函館支部学童保育分会の渡辺分会長と山本さんが加わり、共産党の議員が同席してくれた自治体もありました。

事前に「調査用紙」を送るなど各自治体の学童保育の概要をつかんだ上で、国の事業を活用して制度を拡充することと指導員の処遇改善を要請しました。町長・副町長が対応してくれた自治体も6町あり、小さな町では人口減・少子化のもとでも学童保育を実施していますが、指導員の確保に苦労している話や、国の事業の改善を求める意見、「子育て支援」のためにさまざまな施策をおこなっていることなどを聞くことができました。

5月16～17日には残る5自治体を訪問する第2次キャラバン行動をおこないます。また、7月には北斗市で今回のキャラバン行動の報告とあわせて2回目の「スウェーデン視察報告会」を計画することになりました。

改ざん、ねつ造、セクハラするな 安倍内閣の総辞職求め「総がかり」緊急行動

政治を私物化し改憲に執念を燃やす安倍内閣の総辞職を求めて、連休明けの5月7日に札幌で「総がかり」緊急行動がおこなわれました。参加者は冷たい風が吹く中で「平気でうそつく首相はいらない」「改ざん、ねつ造、セクハラするな」の声を上げました。

追分支部の鷺沢さんが初優勝 北海道鉄道本部「船釣り大会」

北海道鉄道本部は5月5日、毎年恒例の小樽・忍路沖での「春の魚釣り大会」を11名の参加でおこないました。時折、雨が降る中での釣りとなりましたが、一年ぶりに顔を合わせる仲間などと談笑しながら、釣果もまずまずの結果でした。優勝は追分支部・鷺沢さんが大型のマガレイと色々な魚を釣り上げ(11.3kg)、カレイのみで計量した連勝中の小樽支部・猪股さんを僅差で抑えて初優勝に輝きました。続いて追分支部の大内さん、宮越さんが上位に入賞し、追分支部の活躍で大会を無事に終えました。大会終了後、積丹半島・神威岬に向かった仲間もおり、こちらも小ぶりながら旬のホッケを釣りあげ、春の魚釣りを存分に楽しむことができました。